

マーケット・イン型養殖業等実証事業

I. 目的

国内外の需要増加が見込まれるブリ類、マダイ、サケマス類及びホタテ等について、各市場のニーズをとらえた養殖生産を展開し、マーケット・イン型養殖業への意識改革・転換を図り、養殖経営体・グループの生産基盤を早急に強化し、養殖業成長産業化を推進する。

II. 概要

需要に応じた養殖業を推進するマーケット・イン型養殖生産を評価するためのシステム(事業性評価等)を構築・導入し、

- ①生産管理と経営効率化を自己点検し需要に応じた養殖経営体に改善していくため、外部評価を活用した養殖業改善計画の作成
- ②認定された養殖業改善計画に基づき、需要に応じた出荷形態・サイズ・時期の見直し・管理を実証する資材・機材の導入を養殖経営体・グループに支援する。

III. 事業項目

1. 養殖業事業性評価ガイドラインの更新【定額補助】

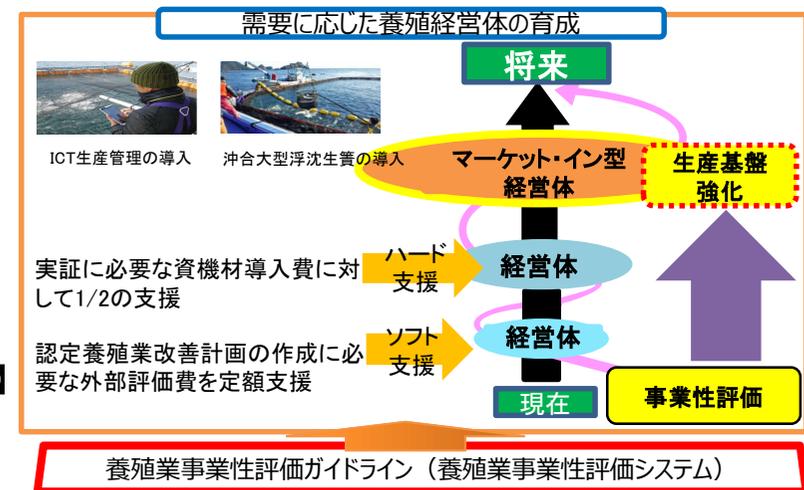
中央協議会に「マーケット・イン型養殖業・生産管理評価委員会」を設置し、ガイドラインの更新に必要な調査を実施。また、委員会はガイドラインに基づき、養殖経営体・グループが作成する養殖業改善計画を認定。

2. 養殖業改善計画の作成支援(外部評価費支援)【定額補助】

生産管理と経営効率化を自己点検し、需要に応じた適正な養殖経営体に改善していくため、外部評価を活用した養殖業改善計画の作成を支援。

3. マーケット・イン型養殖業等実証事業(資材・機材等の導入費支援)【1/2補助】

認定された養殖業改善計画に基づき、産地フィレ加工等の出荷形態の見直し、消費者に好まれる出荷サイズ・時期のコントロール等を実証するため、資機材の導入に要する経費を支援。

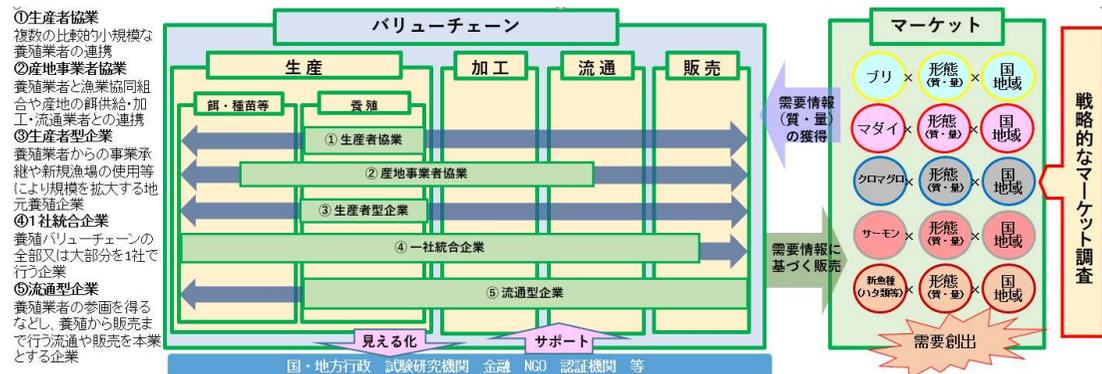


IV. 資金の流れ



(※1) 評価委員会に採択された養殖経営体・グループ。外部評価の支援を受けられる。

(※2) 外部評価を踏まえて養殖業改善計画を作成し、評価委員会の計画認定を受けた養殖経営体・グループ。実証事業の支援を受けられる。



①生産者協業
複数の比較的小規模な
養殖業者の連携
②産地事業者協業
養殖業者と漁業協同組
合や産地の卸供給・加
工・流通業者との連携
③生産者型企業
養殖業者からの事業承
継や新規漁場の使用等
により規模を拡大する地
元養殖企業
④1社統合企業
養殖/バリューチェーンの
全部又は大部分を1社で
行う企業
⑤流通型企業
養殖業者の参画を得る
などし、養殖から販売ま
でを行う流通や販売を本業
とする企業